

研究者の立場で 研究不正を考える

本講演会は、京都大学の全分野の研究者および研究者を目指す学生(大学院生)を対象として、研究者自らが行動を律することで確立される公正な研究、志の高い研究の実施について、研究者の視点からご講演いただきます。

日時

2018年10月24日(水) 14:00~15:45

場所

京都大学シンポジウムホール
(国際科学イノベーション棟5F)

対象者

京都大学の教職員、学生(大学院生)

参加費

無料

定員

260名(先着順)

《次第》

14:00~

開会の挨拶

湊 長博(京都大学 プロボスト・理事)

14:10~15:10

講演「研究者の立場で研究不正を考える」

黒木 登志夫(日本学術振興会 学術システム研究センター 顧問)

15:10~15:40

質疑応答

15:40~15:45

閉会の挨拶

野田 亮(京都大学 副学長)

《講師プロフィール》

日本学術振興会 学術システム研究センター 顧問
東京大学 名誉教授、元岐阜大学 学長
黒木 登志夫 博士

東北大(医)卒、同助教授、東大教授等を経て岐阜大学長を務める。専門分野は化学発癌。2008年より日本学術振興会にて我が国の科学研究の振興に尽力。読みやすい啓蒙書の著者としても知られ、2016年に出版された「研究不正 - 科学者の捏造、改竄、盗用」(中公新書)は、研究倫理を考える者にとって必読の書となっている。

《会場地図》

